一 般 質 問 通 告 表

令和５年第３回姶良市議会定例会（８月 31 日）

１．和田　里志	１．市道等の維持・管理状況と専決事項について	厳しい財政状況の中、市道等の維持・管理については優先順位を付け計画的に行われていると思うが、道路の陥没やくぼみ、路面の凸凹、側溝などとの段差などにより、車が損傷したり、二輪車や自転車が転倒した事故や、段差による歩行者の事故や苦情等が後を絶たない。ほとんどの定例会で市長が専決処分した報告がされている。そこで以下について問う。 （１）現時点で市民から寄せられている道路等に関する要望（補修・拡幅・除草など）・苦情等はどのくらいあるか。その内、年度内に対応予定とその予算及び積み残しに対する経費はどの位か。 （２）軽微な補修等に対応する体制とその予算はどのようになっているか。 （３）道路等の管理において、過去５年間で市の責任を問われ損害賠償を行った件数とその合計金額を示せ。	市　長
	２．備品の管理について	いよいよ複合新庁舎も完成間近になり、来年には引っ越し作業も始まる。また新学校給食センター整備も予定されている。それらに伴い、新しい備品の購入や不要になったり廃棄する備品等が相当あると思われる。これらの備品に関連し以下を問う。 （１）新規に購入した備品や配置替えした備品の登録や管理は適正にされているか。 （２）登録を抹消した備品の扱いはどのようになっているか。	市　長 教育長

２．国生　卓	１．水道について	本市水道は、上水道区域、簡易水道区域、飲料水供給施設区域で構成されており、また、集落で運営している営農飲料用水施設もある。しかし、水道未普及世帯が存在し、上水道等以外から給水しているところがある。 姶良市水道基本理念として、将来を見据えた事業経営、安心・安全で災害に強い水環境整備としている。そこで以下について問う。 （１）市内の水道管は、橋梁添架形式が見受けられるが、これらの水道管の健全度及び橋梁の長寿命化計画を問う。 （２）水道未普及地域で井戸水や山水を利用した飲料水を供給している世帯について、市として、どのような支援策を考えているか問う。	市　長
	２.蒲生複合新庁舎建設について	蒲生支所は、日本遺産蒲生麓の武家門通りの一角に位置しており、また、支所内には、県指定有形文化財である蒲生御仮屋門とその脇に樹齢４００年余りと言われる御仮屋犬槙がそびえ立っている。 今回の複合新庁舎建設基本設計（概要版）は、地域防災拠点として災害に強い庁舎、また、様々な地域活動や交流の拠点として周辺の公共施設と複合化し、蒲生の町並みと調和する市民に親しまれる庁舎として計画されている。 そこで、以下について問う。 （１）蒲生総合支所庁舎建設基本計画は、市民ワークショップでの意見を踏まえ、地域懇話会や複合新庁舎建設検討委員会、パブリックコメントを経て作成している。市民ワークショップで	市　長 教育長

		の庁舎整備に係る計画づくりのキーワードとして、「子育て」や「教育」が抽出されているが、このキーワードを反映させた設計を考えているのか問う。 （２）複合施設機能の中で、多目的ホールは、イベント、集会、交流会など様々な用途に対応し、ステージも設置した仕様になっている。また、図書館も設置予定となっているが、支所完成後は、次の施設について閉鎖を考えているか問う。 ①蒲生ふれあいセンター ②蒲生公民館 （３）蒲生総合支所庁舎建設事業費用は、主に合併推進債の活用を予定しているとのこと。又、起債対象事業の９０％を充当でき、元利償還金４０％が地方交付税の算定における基準財政需要額に算入される地方債であるが、起債額の想定額、また、何年間の償還で、年度ごとの想定返済額を問う。 （４）組織機構は、窓口機能や地域振興機能の充実を図るとのことだが、その後、組織機構についての検討状況を問う。 （５）本市も本庁開設後は、デジタル化の取組が加速すると確信している。そこで、蒲生支所の執務室の配置及び行政窓口はデジタル化に対応した設計を検討しているのか問う。 （６）蒲生総合支所に隣接している北側の市所有地の活用及び整備計画について問う。 （７）蒲生総合支所の建築等入札は市内業者限定と考えているのか問う。	